

小山市立博物館

# 博物館だより

2022  
3.15

# 74

## 第76回企画展『小山の遺跡 速報展』 令和4年4月23日(土)～6月26日(日)

『小山市遺跡分布図・地名表』(1997)には、市内に414カ所の周知の埋蔵文化包蔵地(遺跡)があります。

小山市教育委員会では、これらの遺跡の現状を変更するような場合には、事前に試掘・発掘調査を行っています。

遺跡の調査件数は年々増加しており、地域の歴史を解明する貴重な発見も相次いでいます。今回の展示では、近年の発掘調査の中から、特に興味深い内容を持つ遺跡を紹介します。



神鳥谷遺跡出土墨書土器「宮内」



神鳥谷遺跡カワラケ出土状態



摩利支天塚古墳埴輪出土状態

【開館時間】 9:00～17:00(最終入場時間16:30)

【開催場所】 小山市立博物館 企画展示室

【入場料】 大人200円(100円)、大高生100円(50円)、小中学生無料

※( )内は20人以上の団体料金

※おやまミュージアム割引実施(車屋美術館入館券半券提示で団体料金適用)

【休館日】 毎週月曜日(祝祭日を除く)・第四金曜日・祝日の翌日(祝祭日を除く)

【関連講座】 1.「遺物の接合体験」 6月 4日(土)13:30～15:00 定員16名

2.「遺跡報告会」 6月11日(土)13:30～15:00 定員30名

※参加費無料。

※申し込みについて…事前に電話での申込み(4/9 9:00～受付開始)が必要。  
定員になり次第締め切り。

詳細は当館のチラシやホームページをご参照ください。

## 地域の歴史を体験する一日 ～旧石器から戦国時代まで～

博物館では、教育普及活動の一貫で、学校利用推進事業や学校教育支援事業などの学校との連携事業を数多く実施しています。その中に、博物館職員が地域の史跡を案内しながら解説を行う出前授業があります。今回は鷲城跡で毎年行っている出前授業をご紹介します。

### 1 鎌倉道を歩く

学校から徒歩でスタートし、日光街道を確認しながら鷲城跡を目指して鎌倉道を歩きます。

### 2 鷲城城攻め体験

小山総合公園に到着し、鷲城跡を眺めながら小山氏の城であったこと、思川の崖に築城されたことなどを確認します。

そして鷲城跡に入って土塁や虎口、横矢などの城の造りを見学します。虎口を上っていくと鷲神社があります。氏子総代の方にもご協力いただき、神社の本殿の中にも入らせていただき見学をします。

その後は、城攻め体験です。クラスを攻め手と守り手の2チームに分けます。攻め手は甲冑の代わりに2kgのペットボトルを背負って、虎口から鷲神社（本丸）の前を目指します。守り手は、攻め手が本丸にたどり着かないように紅白玉（弓矢や石）で上からねらいます。狭く曲がりくねった道を玉に当たらないように駆け上がるのは至難の業です。鷲城の守りがいかに強固であったかを実感することができます。

### 3 地層の学習

1クラスが城攻め体験をしている間に、もう1クラスは地層の学習を行います。思川の崖で見られる露頭を見ながら地層について学び、鹿沼土から鋳物を取り出す実験を行います。

### 4 外城2号墳見学

授業の最後には古墳の見学を行います。6世紀後半に造られたとされる円墳で、石室の中に入ることのできる珍しい古墳です。



いざ！本丸へ（鷲城城攻め体験）



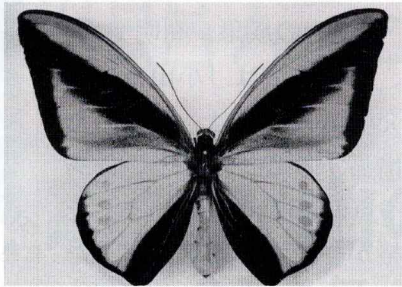
本物を見ながら（地層の学習）



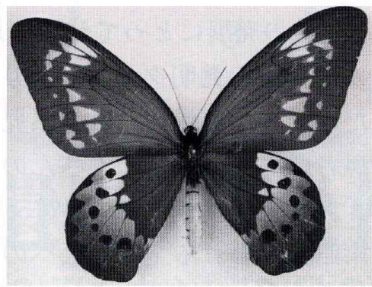
古墳の中に入ってみる（外城2号墳見学）

自分たちの身近な所に歴史的に貴重なものがたくさんあることを知り、より歴史に興味をもったり自分の住んでいる地域に愛着をもったりしてくれることを期待しています。

## 世界最大級の蝶「ゴライアストリバナエゲハ」



ゴライアストリバナエゲハ♂



ゴライアストリバナエゲハ♀

この標本は和名をゴライアストリバナエゲハといい、世界最大級のチョウとして知られています。世界最大のチョウとして知られるアレキサンドラトリバナエゲハには開長（両翅を広げた幅）では負けるものの、翅の面積では上回っています。雄はエメラルドグリーンと黄色が混じった翅で、雌は黒と白が混じった地味な色をしています。雄は雌よりも小型ですが、翅の面積では同じく、アレキサンドラトリバナエゲハの雄を上回ります。高く飛び、ハイビスカスの花蜜を吸うのが特徴です。

【和名】	ゴライアストリバナエゲハ
【学名】	Ornithoptera goliath
【目・科】	チョウ目アゲハチョウ科
【分布】	ニューギニア

和名のトリバナ（鳥翅）は並外れた大きさと前方に向かって広がる翅、および鳥にも見紛う飛び方に由来するといわれています。また、幼虫時代にウマノスズクサ科の植物を食べ、体内に毒をため込む「毒チョウ」としても知られています。美しさと大きさを兼ね備えた翅、種間、亜種間、果ては個体間の変異の多様さ、入手の困難さなど、まさにコレクションの対象とされるにうってつけの条件を揃えていたため、ゴライアストリバナエゲハを含む多くのトリバナエゲハたちが乱獲の対象になっていました。さらに追い打ちをかけるように、近年熱帯雨林の開発が進み、個体数が激減してしまいました。ゴライアストリバナエゲハについては、一時は絶滅も危ぶまれましたが、現在では人工飼育が成功し、徐々に個体数は回復しているそうです。博物館ではゴライアストリバナエゲハだけでなく、メガネトリバナエゲハやビクトリアトリバナエゲハなど複数のトリバナエゲハを収蔵しています。

### コラム

### 博物館職員雑記

## 私の岡山イヤー!?

学芸員 山田 淳子

昨秋に開催した「歌人 田波御白」展準備のため、御白が六高\*進学のために過ごした岡山を訪ねる機会を得ました。新幹線で初めて岡山へ向かう途上、「ここまで来たのにもったいない!」と京都駅を口惜しい気持ちで通り過ぎたのを覚えています。到着した岡山では、関係する文献調査を行い、六高の跡地や御白の歌に登場する操山・旭川・吉備の中山と、御白が見たであろう風景と土地の空気に触れながら、岡山のまちを歩きまわりました。

出会った人やまちの持つ穏やかな雰囲気、加えて土地に対する愛着やほどよいこだわりがまちのそここに感じられ、私は一度で岡山を気に入ってしまいました。展示が終わって数か月たった今も、私はただただあのまちをまたゆっくり歩きまわりたいと思いつけています。

隣県広島出身の同僚から言わせれば、「岡山は田舎。眼中にない。」だそうで、私の岡山愛をしきりに不思議がっていますが、土地も人と同じように相性のようなものがあるのかもしれません。田波御白からつながる岡山との縁。今の私は、岡山に行けるならあの京都を通り越してもそれほど惜しくはないのです。

さらに、去年から私のプレイリストに欠かせなくなった藤井風も岡山出身ではないですか! とくれば、やっぱり岡山がきている! 去年から始まった私の「岡山イヤー」は今年も続いていくはずですよ。

\*岡山に設置された旧制高等学校の一つ。第六高等学校。通称「六高」。

# 物事をいろいろな側面から見よう

人類の夢を実現し、その発展にとってかけがえのない創造力の成果が発明です。現在、全国に200ヶ所以上の発明クラブがありますが、栃木県では「小山市少年少女発明クラブ」だけです。毎年行われる県児童生徒発明工夫展には、子どもたちのアイデアと指導者の支援によりたくさんの作品を出品することができ、優秀な成績をあげています。今回は金賞2点、銀賞5点、銅賞9点の16点が入賞しました。金賞作品は科学技術館で行われる全国大会への出品資格が与えられました。また県内で3団体のみ選ばれる団体賞を11年連続受賞しました。さらに小山市の教育文化功労者表彰において優良団体賞をいただきました。「思いやりの心」や「ものを大切に作る心」を胸に抱き、子どもたちは指導員の先生方と一緒に楽しく作品作りを行っています。(写真は金賞作品です)



第71回栃木県発明展覧会

さて今回は、発明好きになるために大切なことのお話。ある発明家が工学系の学生に向けて「10円玉の絵を描いてみなさい」と言いました。ほとんどの学生が描いたのは『⑩』。発明家は「⑩と描いた人は発明家を目指すのはやめなさい」続けて「10円玉が⑩と見えるのは、片目で上から垂直に見たときです。両目で斜め上から見ると楕円形に見えるし、半分水の中につけると曲がって見える。真横から見ると茶色の横棒にも見える。発明家とは、このように常識の外から物事を見ていかなければならない」と話しました。発明をするためには今までにない新しい発想が求められます。先入観にとらわれずに柔軟に物事を見る姿勢が大切なのです。将来、発明家にならなくても生活の中で生かせるヒントになっていませんか。これからも小山市少年少女発明クラブをよろしくお祈りします。



リアル震度計



楽チン缶つぶし器

## 博物館公式ツイッター(Twitter)をご利用ください。

展示会や講座、ほっしー★OYAMA号の観望会情報など、博物館に関わる情報を発信しています。

アカウント名：小山市立博物館 ユーザー名：@Oyama\_Museum

URL: [https://twitter.com/Oyama\\_Museum](https://twitter.com/Oyama_Museum)



アイコンはほっしーです

※本アカウントは情報発信専用です。お問い合わせは下記の電話番号やHPのお問合せフォームをご使用ください。

## 寄贈者芳名

次の方から貴重な資料をご寄贈いただきました。厚くお礼を申し上げます(敬称略)

- |                                   |                        |
|-----------------------------------|------------------------|
| ■古谷 常夫(小山市) 三月節供飾り・<br>小山銀行営業報告書他 | ■玉野 清(小山市) 椀類          |
| ■角田 誠(小山市) 刀剣類・古文書                | ■古川祐見子(小山市) 古文書        |
| ■野口 静男(小山市) 絹評他                   | ■山中 忠男(小山市) 農具類・写真・文書類 |
| ■櫻井 薫(下野市) バンガサ                   | ■大山 哲也(小山市) 和文タイプライター  |

発行年月日 令和4年3月15日

発行 小山市立博物館 (JR宇都宮線間々田駅西口下車徒歩10分)

〒329-0214 栃木県小山市乙女1-31-7

電話 (0285) 45-5331 FAX (0285) 45-5247

H P <https://www.city.oyama.tochigi.jp/site/hakubutukan/>

印刷 株式会社ダイサン小山

